

待ちに待った『中山中学校新校舎』が完成

平成26年7月より工事を進めてきた中山町立中山中学校新校舎が、平成27年12月に完成を迎えました。

新しい中学校への想いをまとめた「中山中学校改築基本構想」を基に建設が進められた新校舎は、6つの基本方針「優れた学習活動に取り組める学校」「安心して安全な生活の場としての学校」「災害時にたよりになる避難所としての学校」「地域に開かれた学校」「環境に配慮した学校」「これまでの中山中の歴史を身近に感じる学校」に基づく様々な設備や機能を備えるとともに、木材をふんだんに取り入れ、日光がたくさんさしこむ温かく明るい学校になりました。

12月27日に行われた新校舎の一般公開には、町民など1,500人が訪れ、新しい中学校の完成を喜び合いました。



電気設備の特徴

- 太陽光発電設備20kw・蓄電設備15kwを設置し、平常時の有効利用の他、災害時（停電時）における活用について計画しています。
- 必要な箇所に防犯カメラを設置し、生徒達の安全を確保する計画としています。

機械設備の特徴

- 校舎に電気ヒートポンプ方式冷暖房を全室設置し、生徒達が学習に集中できる環境を整備するとともに、暖房と冷房の二重設備の解消を図る計画としています。さらに、大空間（ひまわりフォーラム・図書室・学年ユニット（多目的スペース））には蓄熱式電気床暖房、屋内運動場にはガス式遠赤外線暖房を採用する計画としています。

【敷地面積】 44,805㎡

【建築面積】 5,582㎡（校舎 3,604㎡、屋内運動場・渡り廊下 1,978㎡）

【延床面積】 10,417㎡

■校舎 6,427㎡

- 1階 普通教室・ロッカールーム・特別支援教室・美術室・技術室・図書室・PC教室・学年ユニット（多目的スペース）・ひまわりフォーラム・校長室・職員室・保健室・会議室等
- 2階 普通教室・ロッカールーム・音楽室・理科室・家庭科室・図書室・学年ユニット（多目的スペース）等
- 3階 電気室等

■屋内運動場 3,953㎡

（ピロティを含む）

- 1階 武道場・ピロティ（雨天練習場）・ミーティングルーム・更衣室等
- 2階 アリーナ・折りたたみ収納ステージ・教官室・更衣室・災害備蓄倉庫等
- 3階 ランニングコース

■渡り廊下 37㎡



施設の特徴

- 普通教室・ロッカールーム・学年ユニット（多目的スペース）・メディアセンター（図書室・PC教室）を一体的に活用した、多様な学習活動が可能な計画としています。
- 毎日の登校が楽しくなるようなひまわりフォーラムを校舎中央に配置し、生徒達の活動の成果を展示・発表できるスペースとして計画しています。
- 快適な学校生活が送れるよう、普通教室にはロッカールームを隣接させ、将来教科教室型運営方式に移行する場合にも対応可能な計画としています。
- 職員室から見通しのよい計画とするほか、訪問者が確認できるよう事務室に受付カウンターを設置したり、生徒用トイレをみんなの目の届く位置に学年毎配置する等、校舎内外に生じる死角をできるだけ少なくして、生徒達が安全で、安心して生活できるような計画としています。
- 採光・通風を考慮したハイサイドライト、高断熱の外壁、Low-eガラスの採用、冬期間でも発電可能な太陽光発電パネルの屋内運動場壁面設置等、環境に配慮した計画としています。
- 屋内運動場1階には武道場とピロティ（雨天練習場）、2階にはバスケットボールフルコート（15m×28m）2面の広さを有するアリーナ、3階には雨天時や冬期間の運動スペースとしてランニングコースを配置し、生徒達が天候に左右されることなく、のびのびと活動することができる計画としています。
- アリーナには折りたたみ収納ステージを採用し、アリーナのスペースを最大限活用するとともに、ランニングコース全面からアリーナを観覧でき、死角が生じないような計画としています。

